

も

ものづくり それひとつづくり けだし名言

Keyword : ひとつづくり, 遊び, 脳力



上の写真は「洗濯ばさみ de アート（造形遊び）」において「高く！高く！」と知恵を出し合い協力しつつ最後の一個を最上部においた瞬間の様子です。

この時私は、「都図研（東京都図画工作研究会副理事長会）」が制作された“啓発ビデオ”「ときめき造形シャワー（1992）」における「たかく、たかく（5年生造形遊び／武蔵野市立第一小学校：鈴木 透先生）」の実践を思い起こしていました。

映像の中で使われていた材料が鈴木 透先生によって長期的に集められたものなのか、あるいは子どもたちが持参したものなのかについては定かではありません。が、板切れ・棒切れ等々、過不足のない材料（おそらくは廃材）に対峙、くぎ、金づち、のこぎりを駆使、グループ毎に思い思いのものを明るく元気に他よりも高く高くとつくる子どもたちの様子が記録されていました。この活動を通して子どもたちが身につけるはずの協調性や創造力等に思いを馳せた時、私は東に向かって最敬礼をしておりました。

そうした姿と相俟って今回の学生達の様子が“ものづくり”は“脳づくり”に貢献することを再確認しました。脳によって生き活かされているのが人であればやはり“ものづくり”は“人づくり”の文脈は是認されてしかるべきと私は考えるのです。

*1 永井和貴先生（立川市立大山小学校／当時の所属校）からご提供いただいた貴重な映像資料です。